

東北地方 1 か月予報

(5 月 1 0 日から 6 月 9 日までの天候見通し)

平成 1 5 年 5 月 9 日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう 1 か月の天候 >

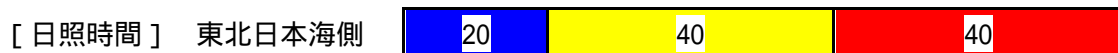
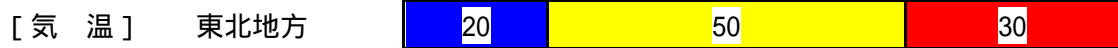
向こう 1 か月の可能性の大きな天候は以下のとおりです。

天気は概ね周期的に変わり、晴れの日が多いでしょう。

向こう 1 か月の気温は平年並、降水量は平年並、日照時間は東北日本海側は平年並が多い、東北太平洋側は平年並でしょう。

週別の気温は、1 週目は平年並、2 週目は平年並が高い、3 ~ 4 週目は平年並の見込みです。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



低い (少ない) 平年並 高い (多い)

< 気温経過の各階級の確率 (%) >



低い 平年並 高い

< 予報の対象期間 >

1 か月 : 5 月 1 0 日 (土) ~ 6 月 9 日 (月)
1 週目 : 5 月 1 0 日 (土) ~ 5 月 1 6 日 (金)
2 週目 : 5 月 1 7 日 (土) ~ 5 月 2 3 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 5 月 2 4 日 (土) ~ 6 月 6 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 5 月 1 6 日
3 か月予報 : 5 月 2 2 日 (木) 1 4 時 0 0 分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	14.9	150.7	194.4	13.3	14.2	15.6
新庄	15.7	95.9	184.7	13.8	14.8	16.7
若松	16.9	75.5	199.2	15.1	16.0	17.9
深浦	14.3	99.0	203.1	12.7	13.4	15.1
青森	14.4	75.5	211.1	12.8	13.6	15.1
むつ	13.3	91.9	204.5	11.9	12.6	14.0
八戸	14.1	86.8	205.7	12.9	13.5	14.7
秋田	15.7	109.9	199.7	13.8	14.7	16.6
盛岡	15.3	96.9	192.9	13.5	14.4	16.1
宮古	14.0	98.1	186.3	12.9	13.5	14.6
酒田	16.3	101.3	205.2	14.5	15.4	17.2
山形	16.9	78.7	201.9	15.1	16.0	17.7
仙台	16.1	104.9	190.7	14.6	15.4	16.8
石巻	15.2	92.8	200.8	13.7	14.4	16.0
福島	17.8	84.9	190.3	16.3	17.0	18.5
白河	16.1	121.2	181.7	14.5	15.2	16.9
小名浜	16.1	134.9	194.8	14.9	15.5	16.7

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.4～+0.4	84～ 110	96～ 107
東北日本海側	-0.4～+0.4	81～ 113	96～ 107
東北太平洋側	-0.3～+0.4	83～ 109	96～ 108

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.4～+0.7	-0.5～+0.6	-0.5～+0.4
東北日本海側	-0.4～+0.7	-0.6～+0.6	-0.5～+0.4
東北太平洋側	-0.3～+0.7	-0.4～+0.7	-0.5～+0.4

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、予報した階級が実際に起こる割合（出現率）を表しています。たとえば、確率 60％の予報 10 例では、そのうちの 6 回で予報した階級が実際に起こり、4 回で起こらないことが想定されます。また、統計的に有意性の高い予測資料が得られた場合には気候的出現率（各階級ともに 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、有意性が低い場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 15 年 5 月 9 日 仙台管区気象台

1．可能性の大きな天候の特徴

向こう1か月(5月10日～6月9日)：

天気は概ね周期的に変わり、晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

1週目(5月10日～5月16日)：

高気圧に覆われおおむね晴れますが、期間の終わりは気圧の谷の影響で天気のくずれる所があるでしょう。明後日(11日)までは最低気温が平年より低い所が多く、霜の降りるおそれがありますので農作物の管理に注意して下さい。

平均気温は平年並でしょう。

2週目(5月17日～5月23日)：

天気は周期的に変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

3～4週目(5月24日～6月6日)：

天気は概ね周期的に変わりますが、前線やオホーツク海高気圧の影響で一時天気がぐずつくでしょう。

平均気温は平年並でしょう。

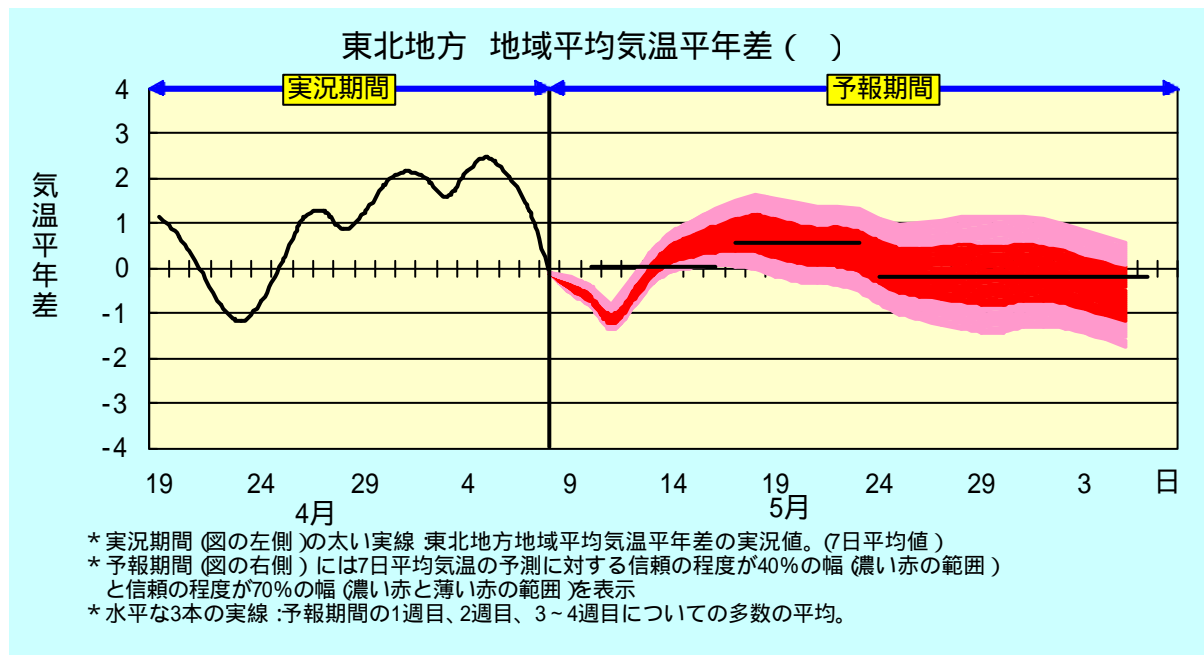
平年の晴れ日数

	向こう28日間	1週目	2週目	3～4週目
東北日本海側	16.4日	4.0日	3.9日	8.5日
東北太平洋側	15.9日	4.0日	4.0日	7.9日

2．東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、1週目、2週目、3～4週目共に「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から2週目を「平年並か高い」とする他は、数値予報どおりとする。

なお、数値予報の信頼度は小さい。



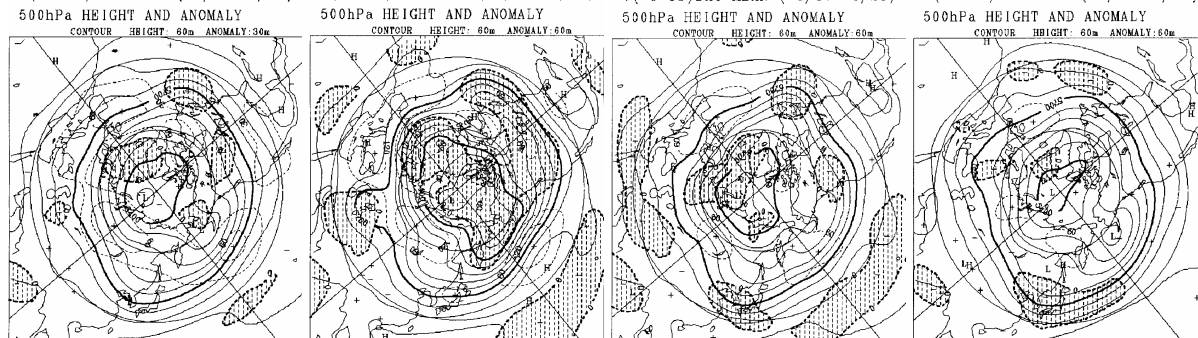
3．数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、中央シベリアからアリューシャンの南にかけて正偏差がのびる。朝鮮半島付近には弱い負偏差があって、日本付近はやや西谷傾向。

週別に見ると、1 週目、日本付近は北日本に中心を持つ正偏差に覆われる。2 週目は、黄海から日本の南海上にかけて負偏差となり、西日本にかかる。3～4 週目、日本付近は負偏差に覆われる。オホーツク海には、地上のオホーツク海高気圧に対応する気圧の尾根が予想される。

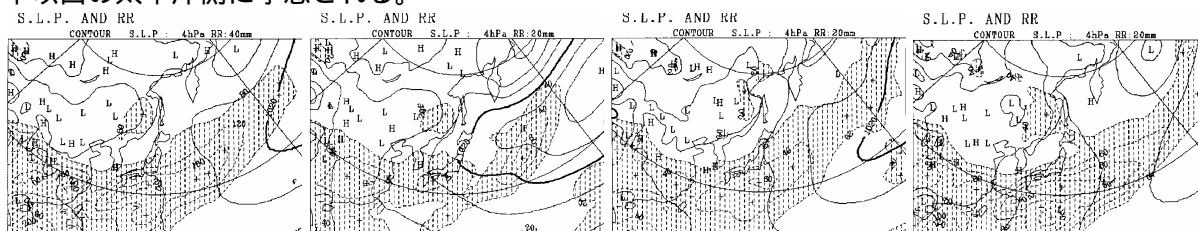
28(2-29)DAY MEAN (5/10- 6/ 8) 7(2- 8)DAY MEAN (5/10- 5/16) 7(9-15)DAY MEAN (5/17- 5/23) 14(16-29)DAY MEAN (5/24- 6/ 8)



地上気圧と降水量：

月平均では、カムチャツカ半島付近に平年より強い高圧部が予想される。本州南岸には平年より強い低圧部が予想され、まとまった降水域が東日本以西の南岸にかかる。

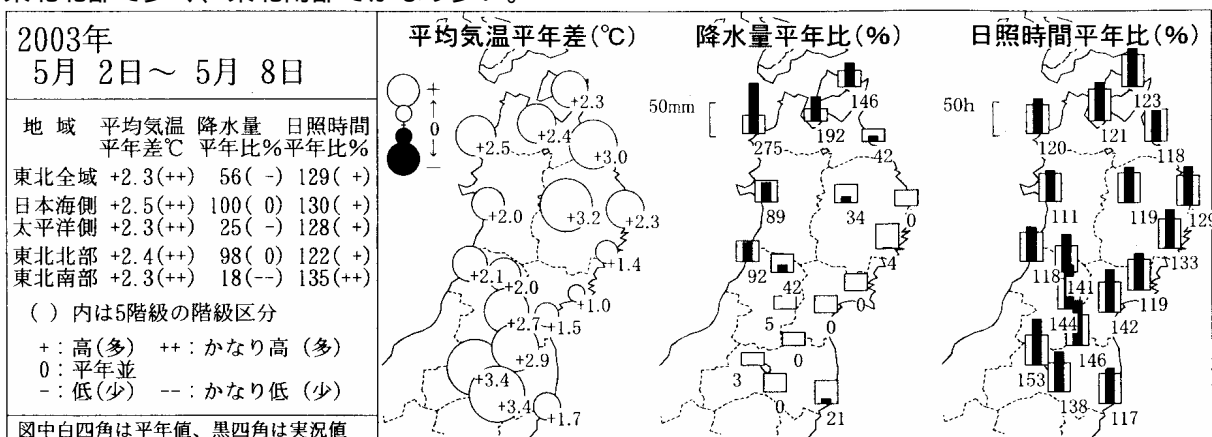
週別に見ると、1 週目は日本の東海上の高気圧が北日本を覆う。2 週目は、等圧線の間隔はまばらで天気は周期変化が基調となる見込み。本州南岸に低圧部が予想される。3～4 週目は、カムチャツカ半島付近で高圧部が強まる。本州南岸の低圧部は平年より強く、まとまった降水域が東日本以西の太平洋側に予想される。



4．最近 1 週間（5 月 2 日～5 月 8 日）の天候の経過

期間の半ば過ぎまで高気圧に覆われて晴れた。期間の終わりは、東北地方を前線が通過し、東北日本海側を中心にまとまった雨となったが、前線の通過後は晴れた。

平均気温はかなり高い。降水量は、東北北部で平年並、東北南部でかなり少ない。日照時間は東北北部で多く、東北南部でかなり多い。



最近 1 週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）